【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和1年8月29日(2019.8.29)

【公表番号】特表2018-520834(P2018-520834A)
【公表日】平成30年8月2日(2018.8.2)
【年通号数】公開・登録公報2018-029
【出願番号】特願2018-522828(P2018-522828)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ　15/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　15/00　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和1年7月18日(2019.7.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
吸入可能な液体の貯留及び患者への送出のための吸入器デバイスであって、前記装置がパック形状本体を備え、前記パック形状本体が、
（１）吸入可能な液体が予め充填された受動蒸発支持材料を備えるレセプタクルと、
（２）レセプタクル蓋と、
（３）少なくとも１つの空気入口開口と、
（４）少なくとも１つの蒸気吸入開口と、
を備え、
吸入可能な液体を貯留するために前記レセプタクル蓋が閉じられるときに前記空気入口開口及び前記蒸気吸入開口が閉鎖位置にあり、更に、吸入可能な液体が貯留時に蒸気を形成するにつれて前記パック形状本体が蒸気チャンバを形成し、それにより、前記空気入口開口及び前記蒸気吸入開口を介して前記蒸気チャンバを通る空気／蒸気経路を与えるために前記蓋が開放されるときに貯留された蒸気を患者への直接的な投与のために利用できる、吸入器デバイス。
【請求項２】
前記パック形状本体は、
（１）吸入可能な液体が予め充填された受動蒸発支持材料を備えるレセプタクル、
（２）レセプタクル蓋、
（３）少なくとも１つの空気入口開口、及び
（４）少なくとも１つの蒸気吸入開口、
のみから成り、
吸入可能な液体を貯留するために前記レセプタクル蓋が閉じられるときに前記空気入口開口及び前記蒸気吸入開口が閉鎖位置にあり、更に、吸入可能な液体が貯留時に蒸気を形成するにつれて前記パック形状本体が蒸気チャンバを形成し、それにより、前記空気入口開口及び前記蒸気吸入開口を介して前記蒸気チャンバを通る空気／蒸気経路を与えるために前記蓋が開放されるときに貯留された蒸気を患者への直接的な投与のために利用できる、請求項１に記載の吸入器。
【請求項３】
前記レセプタクル蓋は、前記レセプタクルに対して前記蓋を跳ね上げる、上方へ引き上

げる、ねじる、旋回させる、回転させる、又は、蓋のねじを緩めることによって開放される請求項１又は２に記載の吸入器。
【請求項４】
前記レセプタクル蓋は、前記レセプタクルとシール係合するように着脱自在に締結される請求項１から３のいずれか一項に記載の吸入器。
【請求項５】
前記レセプタクル蓋が回転可能に開放可能である請求項１から４のいずれか一項に記載の吸入器。
【請求項６】
前記空気入口開口部及び前記蒸気吸入開口部が前記レセプタクル蓋に形成される請求項１から５のいずれか一項に記載の吸入器。
【請求項７】
前記空気入口開口及び前記蒸気吸入開口は、前記蓋が調整可能に開放されるときに前記装置を通る空気流経路を与えるように前記レセプタクル蓋及び前記レセプタクルの両方に形成され、それにより、ユーザが吸入する際に蒸気をユーザに送出するべく前記蓋の前記開口を前記レセプタクルの前記開口と部分的に又は完全に位置合わせすることによって前記空気流経路を調整可能に制御する請求項１から６のいずれか一項に記載の吸入器。
【請求項８】
前記レセプタクル蓋が平坦である請求項１から７のいずれか一項に記載の吸入器。
【請求項９】
前記パック状本体は先が断ち切られている請求項１から８のいずれか一項に記載の吸入器。
【請求項１０】
前記蓋は、ユーザが前記蓋を開放するのを助けるためのグリップを備える請求項１から９のいずれか一項に記載の吸入器。
【請求項１１】
前記蓋が詰め物挿入体を備える請求項１から１０のいずれか一項に記載の吸入器。
【請求項１２】
前記レセプタクル蓋は、前記蒸気吸入開口を介して蒸気を送出するための一体形成されたマウスピースを備える請求項１から１１のいずれか一項に記載の吸入器。
【請求項１３】
前記マウスピースは、随意的に、従来のエアロゾル又はネブライザーフェイスマスクに適合するようになっている請求項１２に記載の吸入器。
【請求項１４】
吸入可能な液体がハロゲン化揮発性液体である請求項１から１３のいずれか一項に記載の吸入器。
【請求項１５】
前記吸入可能な液体が鎮痛剤として使用するためのメトキシフルランである請求項１から１４のいずれか一項に記載の吸入器。